

令和 5 年度 愛西市地域保健対策協議会会議録（概要）

会 議 名	令和 5 年度第 2 回愛西市地域保健対策協議会
開 催 日 時	令和 5 年 2 月 13 日(月)午後 2 時から午後 2 時 55 分まで
開 催 場 所	愛西市佐屋保健センター2 階 会議研修室
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	近藤 良伸委員、安井 久委員
協 議 事 項 等	<p>●協議事項</p> <p>(1)愛西市の保健統計について</p> <p>(2)令和 5 年度愛西市保健事業実施計画（案）について</p> <p>(3)意見交換「子どもの心の健康づくり事業について」</p> <p>(4)その他 新型コロナウイルス予防接種について</p>
公開/非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍 聴 人 の 数	0 人
会 議 資 料	<p>次第</p> <p>令和 4 年度愛西市地域保健対策協議会委員名簿</p> <p>資料番号 1 愛西市の保健統計</p> <p>資料番号 2 令和 5 年度愛西市保健事業計画（案）について</p> <p>資料番号 3 子どもの心の健康づくり事業について</p> <p>資料番号 4 令和 4 年度新型コロナウイルスワクチン接種について</p>
審 議 経 過	別紙のとおり

愛西市地域保健対策協議会委員

役職名	氏名	職種名及び団体名	備考
会長	前田 知幸	愛西市医師代表	
副会長	奥田 悦司	愛西市歯科医師代表	
委員	佐久間清美	名古屋学芸大学看護学部教授	
〃	近藤 良伸	愛知県津島保健所長	欠席
〃	安井 久	愛西市薬剤師代表	欠席
〃	石原 一孝	愛西市総代連絡調整会議会長	
〃	横井三千雄	愛西市民生児童委員協議会代表	
〃	原田 健三	愛西市社会福祉協議会会長	
〃	加藤 輝彦	愛西市老人クラブ連合会会長	
〃	松永恵美子	愛西市婦人会代表	
〃	■方美津恵	愛西市食生活改善推進協議会会長	
〃	富田 昌弘	愛西市内の小中学校長代表	
〃	三輪進一郎	愛西市教育部長	

事務局

氏名	氏名	氏名	氏名
清水 栄利子	松本 繁	服部 芳樹	山森 育子
村瀬 さやか	堀田 紫津子	藤澤 花鈴	藤松 志乃

審議経過

発言者	内容（概要）
会長	<p>1. あいさつ 会長あいさつ</p> <p>2. 協議事項 会議次第に従いまして、進行させていただきます。 協議事項(1)愛西市保健統計について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(1)愛西市保健統計について 事務局より、資料番号1に基づき報告</p>
会長	<p>ただ今、協議事項（1）の事務局から説明があった内容について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>死因別死亡順位について、悪性新生物とは「がん」ということでよいか。</p>
事務局	<p>悪性新生物は「がん」を指します。</p>
会長	<p>保健統計データを見て、行政から市の課題、改善が必要な点等何かあるか。 例年よりも「自殺」の死亡順位が上がっているのが気になるところだが、そのあたりはどうか。</p>
事務局	<p>令和2年については例年よりも自殺の数が増加し、苦慮しているところです。市としても自殺対策として、分析や今後の事業展開等について検討しながら取り組んでいるところです。現状では、「こころの体温計」というウェブ上で心の状態やストレスチェックができるシステムを市ホームページ等で公開しています。そういったものを活用しながら心の健康について普及啓発をしています。また、若年層への取り組みとして成人式（二十歳の集い）に自殺予防のリーフレットを配布しており、今後も自殺対策事業について検討し、取り組んでまいります。</p>
会長	<p>他にはよろしいでしょうか。 次に、協議事項(2)令和5年度愛西市保健事業計画（案）について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(2)令和5年度愛西市保健事業計画（案）について 事務局より、資料番号2に基づき報告</p>
会長	<p>ただ今、協議事項(2)の事務局から説明があった内容について、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>新規事業として「伴走型支援」とあるが、これは妊娠中から出生、2歳になるまで途切れることなく支援をするという解釈でよいか。 この時期以降、保育園や学校等へステージが変わっていくが、この年齢で区切りとするのか。</p>

事務局	<p>例えば、社会福祉協議会で言う「伴走型支援」は社会的困窮者等に対して寄り添い、途中で切らさずつながりを持つという意味合いがあるが、この場合はどのように考えているか。</p> <p>伴走型支援は、妊婦から出産まで母親に寄り添い、出産されてからは子育てに必要なサービスの情報提供、相談支援等を行います。</p> <p>この事業としては、妊娠届出時、妊娠8か月時、出生後の3回面談やアンケート実施後、妊娠時と出生時に各5万円を支給するものになります。保健センターとしては、その後も乳幼児健診や育児相談、離乳食教室等、成長に応じた事業展開により、親や子どもに寄り添った支援、情報・サービス提供等を引き続き実施してまいります。</p>
会長	<p>他にはよろしいでしょうか。</p> <p>次に、協議事項(3)意見交換「子どもの心の健康づくり事業」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(3) 意見交換「子どもの心の健康づくり事業について」事務局より、資料番号3に基づき説明。</p>
会長	<p>ただ今、事務局から説明があった内容について、委員の皆様よりご意見をいただきたいと思えます。検討事項も含め、ご質問、ご意見等あればお願いします。</p>
委員	<p>構成員(案)に「学校教育関係者」とあるが、PTAも含まれるのか。</p>
事務局	<p>学校教育関係者については、学校の教育現場を知っている方を想定しております。実行委員にはPTA代表に入っていたいただきましたが、今後の作業部会では学校教育現場の経験者を考えております。</p>
会長	<p>この事業について、根本的に何を目的にしているのかよくわからない。愛西市の子どもの心の健康づくりについて、どこに問題点があるのか明確にしていく必要があるのではないか。この年代の一般的な問題を捉えて何となくイベントを行っているような印象を受ける。簡単に目的を教えてください。</p>
事務局	<p>子どもの成長を通して、その段階に応じた子どもの心の成長に必要な部分を補っていくことを目的としています。年長児に行く意図としては、小学校から生活リズムをきちんと整えることが心の発達にもつながることから、生活リズムを整えるために、睡眠、朝食、排便を済ませて登校することを目的としています。二分の一成人式(今年度から「十歳の集い」へ名称変更)では、思春期に向かう難しい時期に、自分を支えてくれた人たちの存在を意識し、これまでの自分の成長を振り返ることで自己肯定感を高めていくことを目的としています。いのちの授業では、命の尊さについて学び、将来自分が親になるイメージができるよう事業を行っています。</p>
会長	<p>学校医として関わる中で、毎年必ず自己肯定感がない子が一定数いるように思う。また、医療場面で相談を受ける場合、自己肯定感がない子たちの中</p>

委員	<p>には発達障害のお子さんもたくさんいる。親に守られていて、自分が望まれて生まれてきたこともわかっているが、強く生きづらさを感じている。そういった子たちには、これらの内容はあまり響かないのではないか。いのちの授業を毎年やっているのは知っている。感情が揺さぶられるので、直後のアンケートではいい結果が得られると思うが、1か月、1年経過した後はどうなのか。イベントとして行うのであればいいが、保健事業として行うのであれば、フォローアップ等を行っていく必要があるのではないか。</p> <p>小中学校の中で、十歳の集い、いのちの授業等は年間行事に入っており、慣例的に学校の中で考え、学校行事の一つとして行っている。小中学校に対して子どもの心の健康づくり事業として何かフォローが入るようになるのか。また、作業部会が新しく立ち上がるのであれば、小中学校へ新しい関わりができるかなど、具体的なものがあるとよいと思う。</p> <p>特別支援が必要な子は手厚いフォローが必要であり、特別支援の子以上に、その保護者の心もとても大変な状態であると思う。子どもの心プラスアルファで保護者への支援もあるとよい。</p>
事務局	<p>イベントで行う事業としては捉えていません。継続的に子どもの心の成長に寄り添っていけるような事業展開をしていきたいと思えます。</p> <p>確かにいろいろなご家庭がありますので、お子さんに対してだけでなく、その保護者に対してもどうフォローしていけるか、頂戴したご意見を参考に作業部会において検討してまいります。</p>
委員	<p>資料の見せ方として、まず、子どもの心の健康づくり事業の目的について明記する。次年度事業（案）についても、各事業内容について、目的・対象者・実施方法を整理して記載するとよい。</p> <p>また、「子どもの心の健康づくり事業作業部会」の目的をはっきりさせることが重要となる。今までやってきた事業の目的と部会の目的がしっかりとリンクされていること。そのリンクされたものが、各事業内容につながっていくものだと思う。</p> <p>構成員では、地域保健対策協議会の下部組織となるようだが、この会の委員から誰か入るのか。</p>
事務局	<p>今後に向けて資料を整えてまいります。</p> <p>作業部会の目的としては、現在取り組んでいる3事業について、今後の方向性、フォローアップ等について検討、事業の見直しを図るための作業部会と捉えています。</p> <p>実行委員会から引き続き入っていただく委員としては、市内小中学校の養護教諭、市立保育園関係者を考えています。</p> <p>発達障害のあるお子さんに対しては、保健師が個別にフォローをしています。事業を行った中で、発達障害をお持ちのお子さんに伝わりにくい、又は心が傷ついている場合には個別フォローをさせていただきます。</p>
会長	<p>発達障害のことを扱うのであれば、医療分野の方を入れるといいと思う。地域のことは民生委員さんから相談をいただくことが多いが、民生委員さんに入ってもらうのはいかがか。</p>

委員	<p>構成員に主任児童委員が入っている。民生委員も地域において民生・児童委員として役割を担っているが、この作業部会では、児童分野の専任である主任児童委員の出席でよいと思う。子ども会がなくなっていく中で、地域には子どもが一定数いる。子どもに対して地域で見守るのが大切ではないかと思っている。</p>
委員	<p>各事業の内容はよいと思う。 事業内容については主に学校主体で考えられ、実施されるとのことだが、作業部会で話し合われる内容は具体的にはどのようなものか。</p>
事務局	<p>各事業の内容や、事業実施後のアンケート結果等について、作業部会で報告し、事業の見直しや検討等を行います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。時間も迫っていますので、次に進めさせていただきます。 (4) その他について、事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>(4) その他について 事務局より、資料番号4に基づき報告。 もう1点ご報告いたします。 今年度予定していた本協議会は、本日ですべて終了いたしました。また、委員任期は令和5年3月末までとなっております。委員の皆様方には貴重なご意見をいただき、大変お世話になりました。ありがとうございました。</p>
会長	<p>以上をもちまして、令和4年度第2回愛西市地域保健対策協議会を終了いたします。長時間にわたり、ありがとうございました。</p>